


退職者 NO.89

こだま会報



高齢者医療・福祉の充実で 安心と希望の日本へ



スイレンの花 (青沼慶祐さんの作品)

目次

- ・総会報告……………①～⑤
高齢期を楽しみ有意義な人生を／来賓挨拶／生方代表幹事挨拶／経過報告／決算報告／監査報告／方針案／物故者名／総会発言ほか／語り継ごう「戦中体験」
- ・せいかつ短信…⑥～⑫
- ・映画随想／「戦中体験記」を読んで……………⑬
- ・楽しい趣味の会…⑭⑮
歴史教室／手作り文化祭／予告／こだま俳壇／里山ハイキング／本の紹介
- ・薬膳料理／絵手紙／料理教室……………⑯

神奈川県職労連退職者こだま会第26回定期総会(6/24)

高齢期を楽しみ有意義な人生を

梅雨の晴れ間の6月24日、退職者こだま会は「高齢期を楽しみ有意義な人生を送ろう」と第26回定期総会を神奈川県自治会館で開きました。

会場には、この1年のとりく

みの写真パネルや『会報』のバックナンバー、できたての戦中体験記『つたえたい想い』、会員の句集などが飾られ、こだま会の活動をアピール。

* * *

午後1時30分、副代表の山本文子さんの司会で開催。会員総数は1353人、出席会員は61人、委任状は557人で総会の成立を確認しました。

続いてこの1年のあいだに亡くなられた17人(3面参照)の皆様へ黙祷を捧げました。議長には新井通子さんを選出し、議事に入りました。



開会にあたって生方代表は、この日が参議院選挙公示日と重なったことに加え、「後期高齢者医療制度の廃止を3年後に先送りするなど、民主党のマニフェストはすつかり色あせた」

県職員の戦中体験記『つたえたい想い』を普及するなど、「若い世代と結びつき、平和を守る運動をいっそう強めたい」と強調しました(2面参照)。

来賓には県職労連や横浜市従退職者会、中央労金・全労済・生命保険会社から連帯の挨拶をいただきました。

続いて09年度経過報告(鳥居事務局長)、同決算報告(加藤副代表)、同監査報告(辻村監査委員)が提案され、それぞれ拍手で承認しました。

(2面に続く)

生方代表幹事の開会挨拶 (要旨)



代表幹事の
生方武羅夫さん

今日の総会は参議院選
挙の公示日と重なった。
後期高齢者医療制度の見
直しは3年後にされ、し
かも年齢を65歳以上にす
るといふ。マニフェスト
はすっきり色あせた。「政
治とカネ」「普天間基地

よりよき明日
のために——
高齢者は手を携えよう
てきた。福祉のためと
いって消費税大増税の大
合唱だ。しかし消費税は
導入されてから総額で2
24兆円。一方、法人3
の節目にあたっている。
か見極めたい。
今年は太平洋戦争終結
65年、韓国併合100年、
日米安保改定50年の歴史
に高齢者は手を携えて頑
張りましょう。

**戦中体験記『つたえたい想』の
発刊記念レセプションと懇親会**
総会終了後は、2階の「ラウンジ
はま風」で、戦中体験記『つたえたい
想』の出版記念を兼ねた懇親会
を開催。91歳になる執筆者も参加し、



体験記を書かれた動機などを披露。
「来年もまた皆さんとお会いし、交
流したい」と元気一杯でした。

来賓あいさつ(要旨)

県民生活を守る運動で県政転換を

(県職労連委員長・神田敏史さん)

県予算の不正経理問題では、私的
流用に端を発して予算執行問題でも
不正とされ、1700余人が処分さ
れた。執行責任のあり方が問われて
いる。県は職員を削減しながら「残
業ゼロ革命」というかけ声のもとで、
「仕事をやめて、業務仕分けをしな
さい」などと知事名で直接個人に
メールが入る状況だ。また「地域主
権」ということで、自治体の役割が
民間に追いやられようとしている。
このままいつたら県がなくなる。先

輩達を守ってきた県を守りたい。来
春は知事選。県民の生活を守るため
に、皆さんと一緒に頑張って松沢県政
を変えて行きたい。

知恵と力を発揮して楽しく運動を

(横浜市従退職者会会長・森田謙一さん)

「こだま会」は発足当初が約80
0人、市従退職者会は1400人。
いま「こだま会」は1300人を超
え、活動の年月を改めて感じた。「戦
中体験記」も拝見し、学んで行きたい
と思う。いま相撲界では麻葉や暴
力団がらみの野球賭博などでメタメ
タだ。また菅政権は所信表明にもな
かった消費税増税を言っている。自
民党さんも導入したくしてしようがな
いようだ。税金全体から考えるなら、
金持ちや資産家からとるのが当たり
前だ。戦争に負けて50年も60年も占
領されている国はない。7月の参議
院選挙では年寄りの知恵を發揮しよ
う。普段から仲良くして知恵と力を
もっている退職者会。何よりも楽し
くやろう。そこに真骨頂がある。

* * *

ほかに、来賓として中央労働金庫
横浜支店の永野さん、全労済県本部
横浜支部の高橋さん、神奈川県ユニオ
ンアシユアランスの畑さんが列席さ
れ、挨拶を頂きました。ありがとうございます。

各議案の提案

経過報告、決算報告、監査報告、方針案の各議案は事前配布(『こだま会報』第88号)のとおり提案されました。その要旨をお届けします。



来賓の皆さんからあいさつをいただきました

●経過報告(鳥居事務局長)

昨年の総選挙では、格差と貧困、長期の不況に「政治を変えたい」という思いが重なり、自公政権を退場させ、民主党連立政権が誕生しました。しかし新政権は、「子ども手当」や「高校授業料無償化」などを実現したものの、後期高齢者医療制度の廃止は先送り。「政治とカネ」「沖縄普天間基地の移転」問題では、これまでの自民・

公明政治と少しも変わらないことが明らかになりました。

来春任期満了を迎える松沢知事は、「1250億円の財源不足」「聖域なき見直し」をいい、大企業向けのインベスト神奈川への助成を52億円に増額する一方、社会福祉事業団への補助金削減など県民に冷たい県政を続けています。

昨年の総会で戦中体験記を作ることを決め、23人の会員から貴重な体験記が寄せられ、本日『つたえたい想い』を発刊できました。

「趣味の会」のとりくみでは、世話人の活躍で参加者が増えています。

●決算・予算報告(加藤副代表幹事)

決算では、年会費加入者が89人、終身会員は40人の目標のところ35人でした。共済助成費は若干増。雑収入が多いのは、宿泊幹事会で半額を負担していただいたことによるものです。支出では事務局費や広報費、通信費などを節約しました。

予算案は前年度実績をベースにしました。広報費が増えているのは、戦中体験記の印刷費が含まれているためで、不足する場合は「予備費」

に対応します。積立金会計は、昨年度とほぼ同額にしました。

●会計監査報告(辻村会計監査)

帳簿等もしっかり管理され、適正に執行されています。経費削減の努力も認められます。

●運動方針(青沼副代表幹事)

「政治を変えたい」との願いで昨年、政権交代を実現したものの、「金権スキャンダル」や「普天間基地問題」など公約違反が続ぎ、期待は裏切られました。来年の県知事選では要求を高く掲げてがんばりましょう。

年金や医療、介護保険など社会保障の充実を求め、高齢者の税負担軽減、平和運動の推進、各種共済の充実などにとりくみます。

「歴史教室」や「俳句の会」「囲碁同好会」「食文化を楽しむ会」「料理教室」など「趣味の会」をさらに充実させたい。また、戦中体験記「つたえたい想い」を普及し、戦争体験を語り継ぎたい。『会報』『ホームページ』も充実したい。

会員の経験と知恵をいかして、元氣よく運動を進めましょう。



鳥居伸太郎さん(事務局長)



加藤利秋さん(副代表幹事)



青沼慶祐さん(副代表幹事)



辻村博さん(会計監査)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます(順不同・2010年6月24日現在)

篠崎 又吉 様 83歳	前田潤一郎 様 80歳	木島 良夫 様 81歳
牧田 和雄 様 82歳	砺波 靖夫 様 67歳	勝山 浩昭 様 72歳
米山 裕司 様 76歳	金子 ナカ 様 87歳	金井 一夫 様 81歳
坪井 久男 様 85歳	北村 武雄 様 80歳	松井八重子 様 83歳
芳野 元康 様 84歳	菊地 啓文 様 79歳	塩沢 三郎 様 67歳
坂本 孝八 様 84歳	田中 靖彦 様 66歳	

この1年間に連絡のあった方で、昨年の総会以前に亡くなられた方を含みます。



参加者の発言・意見



大貫多喜子さん

地域の囲碁大会に75人も参加年会費の請求が届いていない会員がいると聞いたが、どうなっているのか。地域で年金者の運動に関わっている。囲碁大会を開いたら75人も参加した。「こだま会」会員の方もたくさん参加されて良い成績だった。それぞれのところでごんばりましょう。

会費の問題について



佐藤喜治さん

私は年会費の会員。10年余になり終身会費を超えている。バランスをとるため、例えば終身会員の方で20年以上の方にカンパなどを要請したらどうかと思う。



榎本勝雄さん

行事のとりくみをホームページの指導員に関係している。行事案内をホームページに掲載すると、アクセスがたくさんある。行事案内をホームページに掲載、広告も載せたらどうかと思う。



小畑一さん

道州制・県行政のあり方などについて 県の不適正経理が問題になっているがひどい話した。知事のパフォーマンスもある。副知事を2人辞めさせ、再就職させた。こういう



やり方は問題だ。県を解体させようとしている知事の方針と関係する。相模原市が政令市になり、県人口の3分の2が政令市で、県の機関が減少している。県の仕事はどう県民に役立っているのか、道州制になったらどうなるのか県民に明らかにしていく必要がある。農業問題研究会を中心に「農・工・商連携」の運動が始まっている。県でなければ出

来ない役割がたくさんある。OBの知識や経験を集めて県職労連とも連携していい。



片野憲二さん

感動的だった ニューヨークの平和パレード ニューヨークの核拡散防止条

約再検討会議に皆さんから寄せられた署名を持って参加した。1万人を越えるパレードもあり感動的だった。全会一致で合意文書も出来た。反核平和の国民の声が国際政治を動かしていると実感した。県内の平和行進にも参加した。核密約を廃棄する陳情が伊勢原で採択された。「安保改定50年」の今年、平和署名をすすめながら対話を広げたい。



小川政則さん

戦中体験記『つたえたい想い』やこだま旬会のこと

『つたえたい想い』編纂委員会に感謝したい。故・田中現一さんが「神風特攻・後続隊」で書いている。これは農総研分会誌「みどり」からの転載だそうだが、資料収集など大変だったと思う。こういう形で当時、子どもが特攻隊に志願していったことなど貴重な資料だ。メディアにも働きかけ普及させたい。「こだま旬

会」は20人近くに大きく成長している。86歳の方が俳句を始められ、こだま会に加入された。みなさんも、気軽に参加を。



湯川勉さん

憲法25条の権利がある限り、医療も介護も保障される

で品川正治さんの講演(県職員9条の会の平和の集い)が連載されている。品川さんは中国からの帰還船のなかで新憲法の話しを聞き喜んだと書かれている。いま、介護保険の財政がパンクするからと保険料値上げが検討されている。困っている人は大勢いる。岩手県の旧沢内村では憲法25条の精神で医療費を無料化した。入院費がただの時代があったから、私は定年まで働くことができた。憲法25条の権利がある限り、医療も介護も保障されることが当然と思う。



戦中体験記『つたえたい想い』を紹介する山本副代表幹事

参加者の発言・意見



鈴木三郎さん

本庁舎は歴史の証人

本庁舎には「正庁」や「御真影」があった。

ここを通る時は皆、カニの横這いのようにして通った。「貴賓室」は天皇の御座所、玉座は部屋の本真ん中であつた。3階には特高警察の部屋があつた。横浜事件では80人ぐらいつかまえて、4人が拷問で殺された。庁内では拷問していないが。新憲法にもかかわらず、レッドパージが行われた。当時の「職員組合」は「パー ज्याむなし」の態度だつた。60年安保を経て、「職員組合」から「労働組合」へ名称を変え、闘う組織として前進してきている。



太田 顕さん

指定管理者制度 導入後の検証を

指定管理者制度の第1号が津久井やまゆり園

だつた。「神奈川共同会」が受けたが、今どうなっているか。ケアホームを建てたいと言つたが、地元の反対で断念した。地元と話し合つて合意の上で進める約束がほとんど守られていない。共同会のハードルが高くて地元業者は撤退している。指定管理

者制度導入後はどうなつたか、追跡していただけたら盛り上がる。OBも声を上げていこう。

発言・質問への回答

●全体的に

9人の方から熱のこもつた発言に敬意を表したい。いずれも日常活動の上にたつた発言で、運動の発展、方針を補強する立場からの内容だつた。ご一緒に運動を前進させていきたい。

●県行政のあり方について

戦後、府県は自治体になつた。その存在意義は今も失われていない。道州制は自治体か、国家の下請け機関か、必ずしも明らかになつていない。会としては今後、関係者のご意見なども聞きながらとりくんでいきたい。

●反核・平和運動について

ニューヨークでの核拡散防止条約再検討会議へむけたとりくみをベースに反核平和運動が進んだ。核廃絶への道は険しいが皆さんと一歩一歩、運動を進めたい。

●戦中体験記『つたえたい想い』や

趣味の会活動について
寄稿者の故・田中現一さんは現役時代、『県職文化』によく投稿されていた。『つたえたい想い』を若い世代に広げていきたい。趣味の会で

は俳句の会が発展している。今後の皆さんのご尽力に期待したい。

●県行政への指定管理者制度導入について

会員の多くは指定管理者制度を経験していない。実質的な民営化だが、実態はどうか等、『会報』やホームページで紹介するなど検討したい。

●年会費の請求などについて

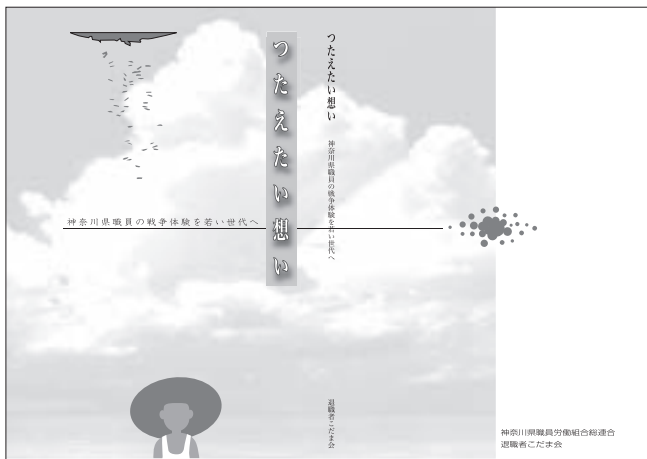
年会費の請求は毎年総会後、請求書を送つて請求している。また、終身会員が多いのが現状だ。年会費で

20年、25年と納めていただく方が財政的にはいいのかも知れないが、事務的な作業が相当あり毎年目減りもある。会費の納入等について、ご意見を参考にして討議していきたい。

●ホームページの利用について

インターネットで「神奈川県職労連退職者こだま会」をクリックすると、「こだま会」のホームページが見られる。諸行事の案内も掲載している。広告なども検討したい。

語りつごう 戦中体験



戦中体験記『つたえたい想い』を普及しましょう

こだま会員の戦中体験記『つたえたい想い』(A5版128頁)が完成。23人が応募し、現役職員とOBとの座談会も掲載。戦争の残酷さ、悲惨さ、平和の大切さを伝えています。戦時下の県庁の様子も必見です。知人・友人へ普及しましょう。お求め、お問い合わせはこだま会事務局まで。600円(送料込み)でお届けいたします。(関連記事13頁)

総会への出欠葉書に寄せられた「短信」をお届けします。全体で185人から寄せられ、掲載者は140人。「会」への要望や提案をはじめ、元気でお勤めの方やボランティアに励む方、地域の「9条の会」等で奮闘されている方、ゆったりと生活を楽しむ方、本当に喜ばしい限りです。一方、介護や闘病中の方も見られます。紙面の都合で、「総会のご成功を」「幹事の皆様、ご苦勞様」などの趣旨は割愛させていただきました。順不同で、一部省略や趣旨に添った形で文字の変更をしております。(編集部)

せいかつ短信

つつがなく暮らしています。92歳

になった母の生活支援・介護で、郷里の島根に「単身赴任」的に移住して、1年半余がたちました。昨年は50年ぶりに冬越しもしました。この1月には住所も移しました。三度の食事づくり、農山作業・園芸作業・集落活動・政治ボランティアなどなどで過ごしています。高齢化率が42・5%を超え、60歳台は「青年部」です。4月から自治会(22戸)の副自治会長に就任しました。(中原保彦)

家庭菜園で3種の野菜作りと、古希野球に明け暮れています。(斎藤孝治)

県外に住んでおりますので、なかなか出かけられません。会とのつながりを保つため、こだま会俳句の会に加入し投句を続けています。

(中村桂子)

『こだま会報』、有意義にまた懐かしい記事、読ませて戴いております。

小康を得て、散歩など楽しくやっております。(戸村五郎)

なるべく歩くようにして、父親のところへ体力十分にいけるようになっていきます。ハイキング、ピアノ、9条の会と無理せず続けていきます。おかげで、年相応に元気です。(三宅杏子)

現在、地元自治会で環境対策の手伝いをすると共に、公園愛護会のボランティアアグループを作り地域にある児童公園の花壇作り、清掃活動をしています。また、週1日、グランド・ゴルフ、囲碁クラブで楽しんでいます。(市川 清)

この3月に退職しもう2カ月たちました。今月(5月)末から、同級会のため沖繩に行ってきました。基地の問題は、どうなんでしょうか。民主党にはうんざりです。5/28(県職九条の会)に行ってみようと思っ

ています。(内海邦子)

ぼちぼち頑張っております。(岩井秀子)

6月1日、鮎釣りが解禁しました。鮎のとも釣りがお好きな方、興味のある方は同行しませんか。素晴らしい仲間が大勢います。ホームグラウンドは酒匂川(小田原・松田・山北)です。(鈴木教天)

真向法健康体操教室や配食サービスボランティアなどやりながら、元気に過ごしております。(塩原国雄)

散歩に読書、パソコンで毎日を通しております。(小島 工)

頭がすっかり白髪となりましたが、大田区の行政や団体のボランティア活動に励んでおります。ボラ



戦中体験記『つたえたい想い』発刊記念レセプション(6月24日)

ンティアの主なものとしては、区内で地域から立ち上げた子育て支援施設「大森子ども交流センター」のNPO法人の理事長として頑張っております。お世話になった地域への恩返しです。(笹原 勇)

廻りの皆さまに助けられて、なんとか生きています。暖かいお心に接し感謝の毎日です。(吉澤良美)

老齢で体力がずっと衰えました。永い間お世話になりました。ありがとうございます。(中鉢吉郎)

いつもお世話様です。皆様もお体大切に。(橋本マツ子)

『会報』を楽しみにしています。(山田真理子)

お世話になりました30年程前を、なつかしく思い出しております。(神山キミ子)

毎日、近所のスポーツクラブに通い、時々八ヶ岳の山小屋に行きハイキング等を楽しんでおります。(杉山茂夫)

体調不良ですが、週2回ボケ防止のため、へば若は今も続けています。『会報』、毎回楽しみにしています。(石原健二)

97歳の母の介護をしています。寝たきりですが食欲はあり100歳を越えそうです。母の為に身体に気をつけて元気でないければと、思うこの頃です。(中原八重子)

認知症の母の介護で余裕のない生活を送っています。私自身ストレスの多い生活で体調を崩し、今は健康管理でいっばいです。人生を楽しめる様な日々と思いますが…。心身共に強くなりたいです。(今井洋子)

私は日々庭の雑草取りや花を年中欠かさず咲かすのが趣味です。仏様の花はすべて飾っています。藤の花、シヤクナゲ・ボタン・シヤクヤク・あじさいです。実は、洋花を少し温室で世話しています。ウオークは7千歩程度ですが日々実行しています。折々に旅に出かけますが、混雑を避けて車で関東周辺に出かけています。新緑の美しい昨今です。楽しく働き続けることですネエ…。

(二宮キク代)
近頃は年寄りもさまに(上達なく)なり、地域の仲間とバードゴルフ・カラオケを楽しんでおります。

(加藤房尾)
83歳になりました。元気なつもりでも耳が遠くなつてトンチンカンな返事をしたり、膝が悪くなつて歩くのが遅くなりました。中古デジカメを集めて並べて悦に入っています。

(辻本 操)
週3回、プレシアという会社本社で食品表示確認をしています。厚労省は食品表示を消費者庁に移管し、農水省は続けています。なぜ、なぜ、

私が若かった頃は市場にでるまでは農林省、市場からは厚生省だったのに。(阿部毅正)

高所恐怖症ではあるが、毎年一度だけ山に登りたいと思っています。これまで北岳、奥穂、槍…など登って、今年は剣岳へと予定しています。(岸 靖之)



皆さんの健康を祝して

年金暮らし、チラシ広告を見て安い品物を買に行くのが健康の秘訣。年に数回ボランティアに出席しています。(小林平治)

毎日、多忙の日々です。(加藤登喜)
胃腸のオペ後はあまり体調が良くありませんので、疲れやすいのです。気ままに過ごしています。

(林 和平)

ヘルニア術後療養中。(大澤常雄)

11年間、自宅で介護した母(認知症・車イス)を昨年亡くしました。いまだ行き届かなかったことをすまないと思いつつの日々です。私の住む古いマンションは30戸ですが、深刻な介護問題をかかえている人が複数いて何かと相談にのらせて貰っています。アメリカいいなりの沖繩の基地問題では、やはり安保条約をなくさなければと一層強く思います。沖繩に次ぐ基地県神奈川の私たちの役割は大きいということも。

(千島ミツ子)

『会報』の写真の中に県職時代にお付合いました方を見つけ、とても懐かしく当時の事を思い出します。福岡県より応援していますよ。(田中 譲)

田舎の実家は両親も亡くなり空き家となっておりますので、兄弟で交替しながら留守番です。今回も5月22日から6月29日まで旭川で一人暮らしです。(岡崎 明)

仕事を完全にリタイアして5年経過しました。今は健康第一に考えリフレッシュ体操等に参加しております。(内藤光夫)

三世代同居のにぎやかな生活の中で、健康維持のため体調と相談しながら、主に野菜作り等に精出して

る毎日です。(岩田 近)

特定非営利活動法人「L・ペーシック」を設立し、県に設立認証の申請をしました。将来的には地域に根づいたコミュニティサロンの運営、まちづくりの推進の一助になればと準備しています。高齢者がいつ来ても安心して、ゆったりとできる雰囲気がかもしだされ、癒されるような居場所があれば…そんな思いを持って立ち上げました。(吉澤靖夫)

80の大病になりました。先が短いのは寂しい気がありますが、同じ世代の方々と元気でいますと、まだまだと齢のことは忘れます。(小林滋樹)

長年付けているランニング日誌に、毎日の飲酒量も記入しています。記録を見返して驚きました。24時間リレーマラソンで一昼夜走っていて飲めなかった2006年7月15日の翌日から今日まで1日も休まず飲み続けているのです。ランニングと同じ位、月に2・3日は休まなくては。(渡辺雄之介)

元気です。(川添国義)
少し体が悪いので、遠出はさけています。但し地域内では毎日が忙しく、活動しています。(岩澤幸雄)

後期高齢者と言われていたのが、今年には喜寿。どうやら無事平穩に過ごしていますが、もう少し続けられたいと思います。(鈴木義朗)



家に籠もりがちの高齢者にとつて、『会報』は会員相互の近況情報源として大いに期待し、事務局のご尽力に感謝しています。(建畑富廣)

3月より体調をくずして入院中です。趣味の囲碁もできず残念です。(遠藤 昇)

『こだま会報』をいつも楽しみにしています。皆さまの楽しい語らいをまた、お伝え下さい。(船橋雅子)

持病と共生しながら、幼犬と幼猫の世話と庭の作業で毎日を通り過ぎておられます。(遠山 淳)

最近、郷土史に興味をもち、楽しみに過ごしています。(小島信明)

昨年9月、軽い脳梗塞で入院し、現在、自宅やデイサービスでリハビリ中です。皆様にはぜひ体調管理

をされて、お元気に活動されますことを願っています。(穂坂輝夫)

同居の叔母が有料老人ホームに入居(6/26)。いよいよ一人暮らしが始まりました。地域の方々から声をかけられ、認知症家族の会のお手伝いをしようかと思っています。少しづつ趣味の会へも参加したいと思っています。(野澤秀子)

昨年の総選挙で政権が変わりました。期待していた高齢者医療制度の廃止は3年後に先送りされました。その理由は何なのか。明確な説明もないまま、もうすぐ1年になります。国民は格差・貧困・長期の不況で、政治を変えたい思いで新政権を誕生させました。いま困っている問題を3年先まで、信じて待てるだろうか。(市川忠勝)

毎年9月の「料理教室」を楽しみにしています。今年は何の料理? 毎回バラエティーに富んでいるので、期待しています。(岩柳良雄)

現役を去って20数年。83歳となり、ウォーキング等で元気に頑張っています。(桜井英雄)

『こだま会報』ありがとうございます。いつも楽しく、会に出席出来た当時の事を思い浮かべながら、拝見しております。(湊 ふみ)

『こだま会報』いつも楽しみです。戦中派として、日本の平和に対する

とりくみにもっと若者を参加させてほしいと思います。(蜂谷吉光)

60歳になります。毎月の山登りと船釣りを楽しんでいます。(張戸寿典)

元気で働いています。(佐藤隆夫)

ちよつとしたなりゆきで、「古文書講読」の仲間に入れてもらいました。週1回の勉強が楽しみであり、たいへんでもあります。(牧村正敏)

地域での活動、年金者組合の活動と毎日忙しくしています。(白井りつ子)

拙著『王朝の挽歌』(叢文社刊)1~3巻まで一応完結しました。(鈴木良明)

元気で充実した生活を送っております。(天羽忠子)

老人会でがんばっています。(小俣郁夫)

『こだま会報』を楽しく読ませていただいております。(稲垣和成)

昭和3年生まれ。今年の願望だった「吉野山千本桜」を観に行ってみました。旅行は足腰を鍛えなくてはなりません。毎日8千歩くらいのウォーキングを実行しています。そのためゴルフもでき、毎日を楽しみ過ごして居ります。(佐藤 肇)

5月中旬、7年毎に立て替えた諏訪大社の新しい御柱をみながら、開いて蒸さずに直火焼が特徴の、消費

量1人当たり日本一という岡谷の名物鰻を食べ、長野市で1泊。

翌朝、冬季オリンピックで造ったループラインを通り、戸隠森林公園の水芭蕉、リュウキンカ、カタクリ群生を楽しんで来ました。水芭蕉の多さには驚きます。

この時期、何回も行っておりますが、鬼無里も良いのですが、この方が手軽ですから。鏡池、小鳥ヶ池、戸隠神社など散策処もあり、森林浴と野鳥の囀りに癒された2日でした。年甲斐も無く頑張りましたが、暇だけは捨てる程あるので、次回はもう少しゆっくりした行程でと思っています。お勧めのコースです。(寺松正孝)

『こだま会報』で皆さまのご活躍を拝見し、エネルギーをもらっています。私はまだ週4日勤めておりますが、年々身体が軋んで疲れが翌日まで残ります。でも「明るく元気」をモットーに今日も頑張っております。(増村一夫)

現在体調のコントロールが難で、腰痛・膝痛に悩まされ、サプリメントは高価なものを使っていますが、全く効果なし。家庭の事情でいつまで働くようになるか、まあ認知症にはならないと思うけど、それは分からない。神のみぞ知る。(中村みき)

退職後、群馬の田舎へ越して早17年。趣味として専ら盆栽・山野草作り・パソコン囲碁に興じています。娘が横浜に居るので遠い存在とは思えません。『こだま会報』に時にはなつかしい名前が出てきます。

(吉原 明)

『戦中体験記』の発行、編集委員の皆様、ありがとうございます。ぜひ読ませていただきます。(安田早美)

『こだま会報』を楽しみにしております。ソフトボールの審判。60歳以上の県シニア大会に選手として出場。地元の9条の会・年金者組合・世直しボランティアと忙しいです。

(望月 有)

この度の県税関連職員等による不祥事件は、長年同機関に在籍したことが因であろう。私も若干県税に在し、部下を小バカにしたことで茶化してへらへら笑ったり、デカ面の県税一筋の課長がいた。職務をなめた結果であろう。我々退職者ももっと声をあげて、今の県組織に対して発言すべきだ。

(村崎亮一)

まだ仕事を続けています。子どもも貧困問題の対応に、何らか役に立てばと考えております。また働く女性達が生きいきと自己実現できるよう、労連の女性分野の活動に関係しています。今年11月20日・21日には「はたらく女性の中央集会」を開く



ため、現地で歓迎の準備をしています。こだま会の先輩諸氏にも良きアドバイス、援助をよろしくお願いいたします。

(宮澤恭子)

おかげさまで、元気です。晴れた日には家庭菜園を楽しんでいます。

(細谷良雄)

健康のありがたさをよく感じています。見方によつては、我々の年代、しあわせかと思つています。

(花崎孝男)

昨年は大腸の手術と背骨の圧迫骨折で入院と通院の年でした。1年たちましたが、体調が今ひとつつきりせず、薬膳料理に参加したいのですが、身体に自信がありませんので諦めました。

(永井光江)

まだ仕事をしています。もう少ししたら、手伝います。それまでよろしくお願いします。

(富田恭子)

先日、同窓会が銀座であつて、久しぶりに都心に出てきました。半数以上が親の介護で欠席。当日、急

に介護疲れで欠席の人もいました。母も要介護度がアップしましたが、毎年アップでしょうか、自分も大変になる日が…と思つている毎日です。

(戸田晴美)

退職後、群馬県赤城町で「半田舎」生活を送っています。ミニ菜園づくりにしていますが、経験不足と貧弱な土地柄のため、野菜づくりに四苦八苦しています。

(角田周久)

民生児童委員として、地域福祉に参加しております。もうすこしで1期(3年)を迎える状況です。

(高橋精治)

白内障手術のため外出できません。

(竹下純則)

『こだま会報』いつもありがとうございます。いろいろな情報を知ることができ、また『会報』のプロの編集方法など学ぶことができ、パソコンの勉強にもなります。毎回楽しみです。

(曾我芳子)

足の手術をして2年近く、リハビリに励む日々ですが、大分良くなり、毎日散歩をしたりしています。足を悪くして、地域の福祉活動をしている方や、いろいろな介護施設など今まで知らなかった世界の人々と知り合い、大変勉強になりました。また孫を通して、今の若者の生きる厳しさも知りました。

(鈴木志げ子)

「こだま句会」は会員が増えて、

膨らみも出てきています。こだま会のご協力のおかげと感謝しています。まだまだ元気な頑張りたいたいと思っています。

(島田多嘉子)

80歳近くになると、身体のおとろえ、不調を痛感します。心だけは好奇心を持ち続けたいと、手軽な、行つたことのない土地、その目安として寺社を地図片手に歩いて、写真を撮っています。

(清水敬一)

『こだま会報』を楽しく読んでいる者の1人です。この度は「戦中体験記募集」のお知らせをいただきましたが、なにぶんにも作文の下手な私。遂にまともならず失礼しました。発刊された「つたえたい想い」を読ませていただき、娘や孫達にも伝えたいと思います。

(河久保矩夫)



総会終了後の懇親会



薬膳料理教室

最近、私の近くの横浜公園で、朝のラジオ体操とバードウォッチングを続けております。(塩沢徳夫) 写真を少し、撮っております。(小清水邦男)

毎月第4木曜日は草木染めを行っており、現在8人ほど希望者が参加しています。(川井弘次)

今の社会、どうなるのだろう。公務員減員のための仕分けか。失業対策に今までは公共事業を作ってきたが、今はカット。農業には昨年の60%カットの農水関係事業予算。こんな事をすれば、公務員はいらない

こと当然。どこに就職させようというのか、など考えさせられます。今後どうなるか、政治はこれでよいのか。国民はこれを選んだのか？ (尾田喜作)

我が家の小さな庭に5年前キジバトが、3年前にはメジロが巣を作り、ヒナを育て巣立ちました。2年前に孫娘が小さな巣箱を作り、梅モドキに設置したところ、今年はシジュウカラが巣箱から出たり入ったりしています。ヒナが誕生し、孫の喜ぶ姿が見たい爺・婆で見守っています。「爺工房」では現在、木綿布でいろいろ作っております。遊びに来てください。(奥津弘久)

この12月で満80歳になります。元気にやっています。(小笠原 勇) 後期高齢者の真つただななです。身近な地元での仲間づくり、特に自然の生態系である農への関心をもっています。今、「大豆・みそづくりの会」「ふるさと環境市民」「絵」の

3つの会に所属しています。また家庭菜園も手がけています。加工品として夏みかんのママレード・苺ジャム・キャラブキ…。(遠藤正子)

自宅で転んで、救急車で入院しました。昨年11月の終わり頃です。今も通院中です。(海老原文江) 『こだま会報』ありがとうございます。毎号楽しみにしております。

昔、一緒に働いた方のお名前を会報で見つけると、とても嬉しく頑張る力になります。囲碁に興味がありますが、今は無理なのでいづれは教えていただきたいと思っております。(石田啓子)

サークル活動、地域活動、町内会活動と何かとあわただしい毎日を送っております。こだま会の趣味の会へも参加できればと思いますが、横浜まで通うのは無理ですねえ。残念！ いつまでこんなに出歩けるのかな？ と思いながら、今のところは元気です。(井坂房子)

最近、足が少しふらつくようになり、遠方への外出は無理になりました。家事の仕事は支障なくできるので、それだけでも幸せです。時折は水彩画で、美しい色を楽しんでいます。惚けないために、自分の努力も必要です。(田中和子) 日々、老妻を介護しております。(前場喜六)

皆さまにお会いしているとお話したい。特に私は、昭和18年8月から20年3月まで中国の上海陸戦隊の派遣隊に所属していました。いま上海万博が開催されています。当時の状況をお話したいと思っていますのですが、体調が良くありませんので残念です。(矢澤 宏) 昨年10月に左膝をひねり、テニス

を休んでいましたが、また始めました。今年の8月で80歳になります。まだまだ頑張ります。車もまだ運転します。無理せず注意深く、慎重に。(宮崎 滋)

指定管理された津久井やまゆり園が、第2号のケアハウス建設(地元地主)で住民達の反対にあっています。地元との共生を拒否し、ギブ・アンド・テイクならぬ、テイク・アンド・テイクの姿勢にノー。(太田 颯)

地元の「9条の会」で駅頭宣伝や講演会、戦争を語り継ぐ会の開催、毎月の会議、会報発行と結構忙しくしています。健康のためにはソフトエアロビクスをしています。健康体操のようなものですが、近くの文化センターで大汗をかいて快適です。大田区のファミリースポーター(子育て支援)を始めようと、6月から講習会を受講しています。(鳥居千珠子)

16歳から17歳にかけては、海軍少年飛行兵(予科練生)として土浦海軍航空隊で過ごしました。そして敗戦、米国による占領と軍政、憲法制定、極東裁判…、激変につぐ激変でした。こうした戦中戦後の私の経験が、皆さんの発言とどう響き会えるか、楽しみにして総会に参加させていただきます。(日比野貞美)

ここ数年、病氣と仲良く付き合いな
がらの毎日なのです。(榎本恵美子)
小学校の同窓会を田舎でやって来
ました。3分の1元氣、3分の1病
氣、3分の1死亡でした。元氣で喜
寿の年になったことを感謝していま
す。(米山東伊)

来年は齡80年、結婚50年、県を離
れて20年。心身共に衰えは隠せませ
んが、足腰が動くうちは「健康・友
好・平和」を目的としている健康太
極拳を地域の有志と続けていくつも
りです。(吉井進)

前立腺の進行ガンと余命10年?を
医師より告知されて3年になる。元
氣のうちにと登山(低山)とジョギ
ングと仕事(生活保護ケースワー
カーのアルバイト)に励んでいる。
自己流の俳句も。残された期間?は、
神のみが知ることだが、できること
が少ないことを実感している。

(湯川 勉)
自治会活動や公園清掃、パトロー
ル等、ボランティア活動や、私的に
は150坪の農園を借りて、野菜作
りに忙しい毎日を元氣に送っていま
す。趣味のゴルフは月2回ほど、旅
行は平均2ヶ月に1度は行っていま
す。(毛木 勇)

今年では会員の皆様と総会でお会い
でき、いろいろな話ができるので
楽しみです。当日が待ち遠しいな。



忘年囲碁大会

歴史教室も楽しく参加させていた
だいています。感謝しています。

(新倉仙太郎)

『会報』を通じて皆さんの活躍さ
れている様子などが良く分かりま
す。私も元氣で地域のボランティア
活動などしています。(西條博之)

退職後、何度か病院に世話になり
ましたが、このところ入院すること
なくとうとう喜寿(やと喜寿)に
たどり着きました。1991年にエ
スペラントの世界大会に参加(ノル
ウェーのベルゲン)してから、毎年
大会に出かけて、あちこちを訪ねま
した。今年もキューバです。そろそ
ろ体力・金力が乏しくなってきたの
で、終止符を打つ時が来たようです。

(小山武衛士)

バリアフリーになって生活を楽し
んでいます。6月21日、夏至にはキャ
ンドルナイトをします。資源を大事
に。6月27日、今井道雄ジャス・ピ

アノコンサートを開催します。こ
も医療センターそばの六ツ川コミュ
ニティーセンターで。(小越信子)
神奈川県自治労連組織拡大専従者
(執行委員)として4月から2年
目に入り、週4日、県職労連に来て
います。県関連職場の組織化を中心
任務とし公務一般労組の書記長をし
ています。ボランティアとして原水
爆禁止県協議会の仕事もしていま
す。(片野憲二)

(片野憲二)

90の坂を越すのは大変なことだ
が、何とかして皆さまの尻尾にくっ
ついていきたいと思ひます。(宮手多助)

(宮手多助)

「歴史教室」は平成22年9月に発
足、20年経過・継続。現在、講義・
散策各2回、年4回実施してありま
す。会員は20数名です。人間は生き
ている。生かされている。人生青春
してみませんか。文化の誠実。皆さ
まの積極的な参加をお待ちしてい
ます。(佐藤喜治)

(佐藤喜治)

『こだま会報』を楽しみにしていま
す。内容がとてもやさしく、いつも
元氣をもらっています。(川田勝利)
退職後、高齢者福祉の仕事にかか
わっています。介護保険制度にな
ってからは、経営的に次第にきびし
い状況になってきています。高齢者
福祉は年々、貧困になりつつあると
思ひます。(佐藤七夫)

(川田勝利)

普天間基地問題での民主党・鳩山

内閣の迷走ぶりを見るにつけ、日本
の未来をどうするのかの本心がない
ことを国民に見せつけています。米
軍基地のない沖縄・日本にする必要
があります。(松本正治)

(松本正治)

当方はいたって元氣です。

(谷村 寛)

1931年2月生まれ、79歳。現在
のところ極めて元氣。世の様の移り
変わりを憂ひています。万事、こだ
ま会を頼りにしています。(鈴木公彦)
私は相変わらず元氣で、スキー関
係の団体運営や他のスキー関係団体
との交流などで頑張っています。退
職してから18年たちますが、スキ
ー場以外は毎日1時間位トレッキング
してあります。元氣のみなもとは歌
とスキーかなと思ひております。

(鈴木公彦)



県職労横浜北支部の「退職者慰勞のつどい」

(榎本勝雄)

絵手紙



奥津弘久さんの作品

足が悪くなりまりました。『こだま会報』だけを楽しみにしています。

(筒居玉枝)

昨年から相模原市長の囑託による市史編纂審議会委員を務めるとともに、今年度より相模原郷土懇話会のメンバーに加わり、郷土の歴史研究活動の精を出しております。

(金子信男)

相変わらず住所不定の生活です。ユリの畑も少しずつ増え、見学者もポツポツ来るようになりました。種苗会社から「球根を売ってくれ」と言われますが、「商売でなく、趣味でやっているのでもったいなく売れません」と答えています。金で買えるものなら、私も買いたいです。

(大石勝彦)

『こだま会報』を楽しみに読んでいます。(田辺恵子)
元気ですごしています。ユニセフ、老人ホームなどでボランティアをしています。(七宮 清)

『こだま会報』を楽しみにして読

んでいます。(吉田龍子)

シルバーセンターの仕事をたまにしています。またウォーキングサークルと歴史サークルに入っていて、とてもいそがしくしています。

(清田晴美)

86歳になりましたが、まだまだ元気でくらしています。(歌川安子)

(小林敬爾)

元気に仕事を週4日と送迎ボランティアにがんばっています。(二ノ宮健志)

(吉田綾子)

「戦中体験記」は記憶のない世代には語れません。次はぜひ、戦後の貧しくて大変な時代を語り、「戦争はやめよう」にしてほしいと思います。

(鹿郷真弘)

健康な身体は規則正しい生活から。毎日のラジオ体操を始めています。食事もしつづつ、料理にも関心を持ち、最近ではエプロンも準備しています。Lサイズのもの求めました。

(仲川栄一)

歩行に支障があるため、介護施設でリハビリ中です。(鹿郷真弘)
時間がたっぷりある今こそできる、3つの合唱団で練習と演奏会のこの頃です。宗教曲から邦人の合唱曲、オペラまで。ラテン語、ドイツ語、日本語、イタリア語とさまざま。発音に苦労し、暗譜では頭の体操で

すが詩の内容が素晴らしく、メロデーも美しくすがすがしい気分になります。20代から90代まで、若い方々には悩みも多いようですが、高齢者はみんな前向きで元気です。

(高木みどり)

元気で過ごしております。(横山善助)

(丸山春信)

現在3つの囲碁クラブに加入して、多くの友人ができています。また年6回、大平荘で親睦大会を開催しています。(佐藤 弘)

(石川清子)

5人目の孫が生まれ、マゴマゴとバーバ業に専念しております。この子たちが平和な社会で自己実現できることを祈りながら。(鈴木敏昭)

(鈴木敏昭)

毎日が休日で畑仕事と犬の散歩と月1回のゴルフを楽しんでいます。今年には天候が不順で計画どおりいかず困っています。

(牛尾隆幸)

「三春の滝桜」桜狩りに行ってきました。人出の多いことにびっくり。物置の整理で段ボール10箱ほどを片付けたのはよかったです。入れる本(本棚につんどくの本)の選別が出来ずに、部屋につんどく状態が続いています。

いつも『会報』ありがとうございます。田舎暮らしも10年目に入りま

した。みどり多き中で、草花をいじりながら、くらししております。いまでも神奈川のが新聞・ラジオで情報があると、なつかしく思います。(松村真知子)

(松村真知子)

病人の夫が、車椅子で生活できるよう、古家を建て直し、娘宅にその後お世話になり、昨年の夏、元に戻り、1ヶ月余で夫を看送り、昨夏より娘家族と生活しております。年相応の骨粗しょう症、高血圧等通院中です。(平能芳子)

(平能芳子)

楽しさを楽しみ乍ら、忙しくない自営業って、ホント楽しいものですね。もう少し続けます。(小山兼治)

(小山兼治)

「憲法を変えて戦争へ行こう」という世の中にならないための18人の発言。井筒和幸・井上ひさし・香川リカ・姜尚中・木村裕一・黒柳徹子・猿谷要・品川正治・ピーコ・美輪明宏・森永卓郎・吉永小百合・渡辺えり子ほか。(定価476円+税)



岩波ブックレット

映画随想 4

監督の第一声はわが神奈川県で発せられた、というと驚く人も多いのではないかと。場所は旧東海道の神奈川宿と保土ヶ谷宿の間、現在の地名では横浜市西区にある浅間神社がその場所である。

日米開戦から1年経過した

昭和17年12月13日、黒澤の「よいい、スタート」の音が響いた。映画はこれが処女作となる『姿三四郎』で、撮影は三四郎(藤田進)と小夜(轟夕起子)の出合いのシーンであった。翌年3月に公開されたこの映画は、国民の強い支持を得て大ヒットした。

現在の浅間神社は本殿こそ再建されたものの、石段は撮影当時の面影を良く残している。黒澤の記念碑を建てるのであれば、この地が最適で

と地獄」がそれである。浅間台には豪邸のロケセットを組み、ロケ地のほとんどが県内で撮影された。山下公園、伊勢佐木町、腰越、鎌倉、江ノ島、そして身代金の受渡しが行われる特急こだま号と酒匂川。映画の

後半、犯人検挙までにめまぐるしく展開する物語と県内の風景。まさに黒澤明絶頂期の1本である。当時の県警本部は県庁本庁舎にあったため、本庁舎屋上も撮影に使われた。犯人尾行にいたり、警部が部下に轍を飛ばすシーンである。よく見ないと判りにくいのが、彼らの背後に写る煉瓦は、確かに本庁舎のものである。

黒澤映画全30作品はDVDで発売中である。しかし、あのダイナミズムを味わうには是非スクリーンで鑑賞したいものである。

今年、生誕百年を迎えた黒澤明。今秋には国立フィルムセンターで大回顧展が開催されるが、今回は神奈川県を舞台とした2本のクロサワ映画について。

昭和三十四年(1963年)に公開されたこの映画は、国民の強い支持を得て大ヒットした。

浅間町の背後にある高台は、浅間台である。『姿三四郎』から16年後、黒澤は再びこの付近を主要舞台として映画を撮る。誘拐事件を扱ったサスペンス

なり、定年まで勤めました。ぜひ多くの人に読んでほしい逸作です。

黒澤明と神奈川

田中一男

映画の傑作『天国

多くの人に読んでほしい

(星野玲子)

伝え残さなければならぬ貴重な

昭和17年12月13日、黒澤の「よいい、スタート」の音が響いた。映画はこれが処女作となる『姿三四郎』で、撮影は三四郎(藤田進)と小夜(轟夕起子)の出合いのシーンであった。翌年3月に公開されたこの映画は、国民の強い支持を得て大ヒットした。

を育ててくれました。東京へ戻るともできず、この地で高校まで過ごし、横浜で学び、卒業後、県職員と

なり、定年まで勤めました。ぜひ多くの人に読んでほしい逸作です。

戦中体験記

『つたえたい想い』を読んで

親の話を聞く思い

(石田啓子)

早速、読ませていただきました。した。執筆者の方々は私の親の世代であり、父も母も亡きいま、親の話を聞くような思いがしました。過酷な戦争のなかを、健気に生きてこられた手記に涙がこぼれました。有難うございました。

証言です。平和・民主運動の根底には、みなさま、この深い体験があつたのですね。

戦中体験記『つたえたい想い』内容

- 私の戦中・戦後体験記
 獣医の軍属として(宮手多助)
 横須賀・上海・湖北へ(矢澤 宏)
 敗戦後、電気がパーと明るく点いた(上野多恵子)
 戦争に協力した私(鎌田利治)
 失ったことの大きさに(朝日信義)
 下駄・もんぺ・ずた袋(小川達子)
 あしたの命(前場喜六)
 戦争はむごい(横川美代子)
 女子挺身隊員の記(田中和子)
 私と戦争(明田剛一)
 戦争中の体験記(飯田宣昭)
 ペンをハンマーに変えて(木村武子)
 命が粗末にされるとき(鈴木三郎)
 私の戦争中の体験(中澤祥浩)
 神風特攻・後続隊(故・田中現一)
 「あ、紅の血は燃ゆる」(吉井 進)
 卒業生名簿のない私(加藤利秋)
 母親の強さを学ぶ(小川政則)
 田舎の軍国少年動向(伊東 久)
 戦時下の学校生活(生方武羅夫)
 ピカの時、何年生だった?(山本文子)
 父の死と中国での生活、帰国(湯川 勉)
 疎開で生き残った(平岡孝弥)
- 語り継ぐ戦中体験(座談会)
 生方武羅夫・沼田安史・山崎直樹・座間由有子
- 戦時下の神奈川県庁
 戦時下の府県制度と神奈川県政(生方武羅夫)
 歴史の証人としての「県庁本庁舎」(鈴木三郎)
 韓国・朝鮮人によって造られた「相模ダム」(太田 顕)

昭和史略年表

楽しい趣味の会

歴史教室
散策
京都にみる「常盤御前
と義経ゆかりの地」

神奈川自治会館で6月14日、歴史教室(講義)を開催。講師は仲村猪一郎先生。出席13人。

「母親の出自が歴史を変えた」と、中村講師は講義を始めた。頼朝の母は、熱田神社宮司の娘。その上、北条政子を妻にした頼朝は正統中の正統である。義経の母は常盤御前。出自はよくわかっていないが、白拍子といわれている。頼朝の母は遊女といわれている。歴史は只頼朝のために、源平の戦に勝利した義経と頼朝は、頼朝に追われて果てている。今回は、義経(幼名・牛若丸)と常盤御前の京都ゆかりの地を紹介する。

はじめに

常盤御前の逃避行(雪降りしきる伏見街道)平治の乱(1159年)で、源義朝を殺された愛妻常盤御前は、吹雪の中を今若(8歳)、乙若(6



常盤御前の誕生と生涯の地

京都の北・双ヶ丘の西「常盤」に

生まれ、余生を送ったといわれている。京福北野駅常盤駅下車。源光寺に常盤御前の墓がある。

義経の誕生、弁慶との出会い、牛若丸の旅立ち

北山通りから船岡東通りにかけて、義経誕生にまつわる旧跡がある。牛若丸誕生井、胞衣塚(臍の緒を埋めた)、産湯井ノ遺跡。常盤御前が牛若誕生を祈願した常徳寺(常徳地藏)、光念寺(常盤腹帯地藏)がある。五条天神。同天神配布の資料(義経と弁慶の出会い)は天神境内の森という異説伝承)。

首途八幡宮。今出川通にある。義経一行は金売吉次郎から奥州平泉へ首途の際、祈願した。

奥州平泉で討ち死にする義経と、夫を殺した清盛の愛妻となる常盤御

手作り文化祭のご案内

—神奈川自治労連退職者会主催—

絵画・写真・絵手紙・陶芸・俳句・短歌・出し物(合唱・フラダンス等々)、気軽にご応募を
とき 2010年11月3日(水・祭)
ところ 横浜市従会館(桜木町下車)
応募締切 10月19日(火)
搬入締切 11月2日(火)午前中までにこだま会事務局へ
問合先 こだま会事務局電話 045-212-3179

前。京都にはこの悲劇のヒーローとヒロインを悼み親しむ地は多い。(湯川勉)

予告!! 予告!! 予告!!

●歴史教室(散策)

テーマ 大磯周辺を歩く(神社・仏閣探訪)
とき 9月13日(月)JR大磯駅10時
会費 500円
ガイド 中村猪一郎会員
ところ がある横浜会庁5階会議室
申込先 こだま会事務所
045(212)3179
又は045(361)0112(佐藤喜治)

●歴史教室(講義)

テーマ 実朝暗殺の謎と三浦氏の立場
とき 11月8日(月)
13時30分~15時30分
ところ 神奈川自治会館
講師 中村猪一郎会員
申込先 こだま会事務所045(212)3179
又は045(361)0112(佐藤喜治)

●囲碁同好会

月例会(毎月第1日曜日)
9月5日・10月3日
ところ 大和:ひかる棋院
会費 700円
申込先 こだま会事務局
045(212)3179
又は045(782)7665
(青沼慶祐)

●俳句教室

月例会句会(毎月第2木曜日午後1時~)。旅先での吟行も。初心者歓迎。楽しい句会です。9月9日 10月7日 11月11日
ところ こだま会事務所
指導 太田土男先生(俳句協会)
会費 500円
申込先 こだま会事務局
045(212)3179
又は0463(81)4493(井村友彦)

●食文化を楽しむ会(薬膳料理)

とき 11月中旬
ところ 横浜市健康福祉センター・調理実習室(桜木町駅前)
先生 上野多恵子さん(会員)
会費 1800円
申込先 上野多恵子045(831)8372
亀井 禎子045(332)4061
本山 文子03(3728)2227



こだま俳壇(7月)

海見ゆる農レストラン豆の飯 小川 水草
 田草取り見えかくれする尻ふたつ 石崎 博美
 朝顔の花を数える仕事増え 松尾佐知子
 夏潮や思うは失せしものばかり 坂 守
 曲がる膝起つ術もなく合歡の花 中村 桂子
 牛つれて海で洗いし土用入り 井村 友彦
 父の日のりぼんで結ぶ赤ワイン 島田多嘉子
 七夕の街を通過して酒場入り 田中 一男
 初採りのピーマン一ヶ無農薬 三井 光子
 アロハ着てこころ楽しき薄暑かな 佐藤 安弘
 枇杷の実を踏んずけていく通学路 木村 武子
 リハビリの道順変わりバラの花 鈴木志げ子
 夏草を踏めば声して香りする 白石 為康
 夏の陽を吸いて真紅の薔薇となる 白井保次郎
 麦の秋四方を田水の迫りけり 鳥海 敏雄
 雛芥子の百万本もありにけり 高橋 和江
 袖なしや涼風運ぶ加齢臭 湯川 勉
 海開き湘南の海に禁煙の旗 横川美代子
 水替へて金魚よそよしくなれり 太田 土男

里山ハイキング
 「あやめの里」へ
 厚 木

6月6日(日)、第1回「厚木・里山ハイキング」を楽しみました。参加者は5人。

小田急「本厚木駅」に10時に集合し、バスで公所まで行き、民家の間を抜けると目の前はもう里山。

今年春にできたばかりの水辺の公園で一息して、里山を歩くこと20分。厚木市立運動公園の中にある野草園



に入り、林間を散策して、園内のべ

上り坂、下り坂を歩き、「あやめの里」へ。
 * * *
 当日は祭の日で、唄(歌)や踊り、飯山白竜太鼓の演奏などを観賞。近くある茅葺き民家(今も住んでいる)を見て、最後に板東第六番札所、飯山観音、長谷寺に行くつもりで、予定を組んでいましたが、参加者から「もう、無理。歩けない」ということで、いつか来ることを期待して帰路につきました。

5時間で1万2千歩を歩きました。(飯塚武弘)

ンチで持参の弁当で昼食。腹ごしらえを済ませて出発です。

こだま
 句会

白石さん・小川さんが句集刊行

句集『杖』(白石為康)

「こだま句会」の発足当初からの会員の白石為康さんは今年の5月15

日、句集『杖』を刊行しました。

「杖」「動物」「植物」「その他」に別れ、118句が掲載されています。

お問合せは045(822)6354 白石為康さんまで。

句文集『水系の絆』(小川水草)

「こだま句会」創始者の小川水草さんは、第1句集『畦もぐら』―農の周辺から―の出版から7年、この夏、句文集『水系の絆』を刊行しました。

小川さんの俳句は、俳句の形式を借りて農の実情を訴えようとするもの。農のあり方や豊かさ、魅力についてのエッセイと合わせて1冊になっています。お求め、お問合せは、042(742)2253 小川政則さんまで。



白石為康さんの句集



小川水草さんの句文集

食文化を楽しむ会

夏をのりきる薬膳料理

7月8日(木)、横浜市健康福祉センターで、「夏をのりきる薬膳料理」を行った。最初に、上野多恵子



会員から、今回使用する主な生薬と食品の効能について説明があった。

◇生薬と食品の効能◇

- ・はとむぎ(利尿作用有、むくみを取る、湿疹やいぼ等、皮膚に良)
- ・小豆(脾力を強め利尿、解毒)
- ・当参(脾・胃の虚弱に良、潤腸、便通、解毒)
- ・蜂蜜(肺脾大腸に良、咳止め)
- ・枸杞子(肝臓・腰・膝のたるさをとり、目の疲労をとる)

- ・五味子(抗菌作用有、咳をやわらげ多汗症を治す、下痢を治す)
- ・冬瓜(肺・大小腸によく解熱、糖尿病にも良)
- ・豚肉(補血作用、疲労回復)

絵手紙



奥津弘久さんの作品

こだま会「料理教室」のご案内

(県職労連壮年部と共催)



と き ●10月30日(土) 予定
11時~16時

ところ ●横浜市健康福祉センター・調理実習室(桜木町駅前) 予定

料 理 ●カボチャ料理アラカルト (お肉もたっぷり)

講 師 ●飯塚武弘さん

講 費 ●2千円

持 ち 物 ●タオル・エプロン

申 込 先 ●県職労連・中村又はこだま会事務局。045(212)3179

〈訂正とお詫び〉

前号3面「09年度一般会計収支決算書」支出の「予備費」2万円を20万円に、5面積立金会計収支決算書名を「10年度積立金会計収支予算書」(10年4月1日~11年3月31日)に訂正します。

編集 後記

▼熱帯夜が続いています。みなさんお元気ですか。▼先の参議院選挙で、国民は普政権にきつ〜いお灸をすえました。「国民の生活が第一」の姿勢が消えてしまったからでは…。▼後期高齢者医療制度の改正案もとりざたされています。しっかりと吟味していきましょう。

(亀井禎子)

会報No.89
2010.8.15

編集・発行
神奈川県職労連退職者こだま会
発行人 生方武羅夫

〒231-0023
横浜市中区日本大通り
県庁本庁舎6階

TEL 045-212-3179 (代表)
FAX 045-212-3178 (代表)
URL http://kodamakai.sakura.ne.jp/

※こだま会の事務所が上記へ移転しました。お立ち寄り下さい。